

『中東現代文学選 2016』刊行にあたって

このたび、中東現代文学研究会編『中東現代文学選 2016』が刊行の運びとなりました。『中東現代文学選 2012』に続き、当研究会編纂による、4年ぶり2作目の文学選となります。

2008年度に発足いたしました当研究会の活動も、まる8年を数えます。2012年度に「中東現代文学における「ワタン(祖国)」表象とその分析」をテーマに3年間の科学研究費補助金(基盤研究(C))を、また、2015年度からは新たに、「現代中東における「ワタン(祖国)」の心性をめぐる表象文化に関する発展的研究」をテーマに4年間の科研費(基盤研究(B))を得て活動を続けております。本文学選は、これまでのわたくしどもの研究活動の成果であると同時に、今後の研究のための基礎資料を構成するものでもあります。

この間の研究活動の発展を反映して、4年前の『文学選 2012』から、翻訳者として参加してくださる方の数も翻訳作品数も、また使用されている言語の数も大幅に拡充されました。とくに『2016』では、2011年以来、内戦の惨劇に見舞われているシリアの作家3名のアラビア語作品や、スペイン語による西サハラの文学をご紹介することができました。

この文学選に翻訳を寄せてくださった研究会メンバーの皆さま、また翻訳・掲載許可を快諾してくださった著者の皆さま、そして、本文学選の刊行の実現にご協力くださいましたすべての皆さまに、この場を借りて心より御礼申し上げます。

この文学選がひとりでも多くの、中東世界や中東の文学、そして世界文学に関心のある方のお手に届くことを願ってやみません。本文学選のなかの1篇でも、読者の皆さまの心の琴線に触れる作品があれば幸いです。

2017年3月4日
中東現代文学研究会を代表して

岡 真理